

〔いのち輝く未来社会のデザインと関西経済の活性化〕

私どもとしては非常にいいタイミングで万博を開催できると思っております。

1社だけでできることは限られると書いていますが、予防あるいは予後を含めて健康を考えますと、例えば運動、食事、こういったものがすべて必要です。皆様ご承知の通り、運動であればミズノさん、アシックスさんはじめ、たくさんの関西企業がごぞいます。食事についても食い倒れの街ということで、非常に多くの集積がごぞいます。あるいは、消毒であるとか、衛生であるとか、例えばサラヤさんであるとか、大幸薬品さんであるとか、私どもシオノギであるとか、日本国内で見ても、感染症に取り組んでいる企業が関西に集中しています。

これらをレバレッジにして、何とか次の時代に関西の存在感を、そして日本からアジア、アフリカに対して輸出産業をつくっていく契機に万博を使うことができないうかと思っているところです。

いのち輝く未来社会のデザインと関西経済の活性化



- **万博は大阪・関西が未来社会のあり方を示す好機**
 - ポストコロナにおける生活様式の提案
 - 医薬産業の果たす役割は大きい、1社だけで出来ることは限られる
- **関西は医薬産業の集積地であり、大阪を中心に課題解決型の新たな街づくりが進行**
 - うめきた2期、スーパースマートシティなど

**未来社会のあり方を世界に示す場として、
大阪・関西万博を国内外に積極的に発信することで、
人材や投資を呼び込み、関西経済の活性化へ**

〔薬ができることの、その先へ。〕

薬だけではなく薬の先を見据えて、ぜひこの万博を一つの契機に皆様方といろいろなお話をさせていただきたいと考えております。本日のパネルディスカッションも楽しみにしております。

ご清聴ありがとうございました。



薬ができることの、その先へ。



SHIONOGI

12

(石川) ありがとうございました。関西の強み、弱みをコンパクトにまとめていただいただけではなく、新時代の医療産業の在り方についてもプレゼンしていただきました。輸出産業にしたいという大変力強い言葉もいただきました。ありがとうございます。

では、次に万博協会の森様、よろしくお願いいたします。

(森) 本日はこのような重要な場で万博の宣伝をさせていただき本当に感謝しております。また、本日は本当に多くの方が聞いてくださっているということですので、ぜひ万博のことをよりよく知っていただいて、ぜひ我々のほうにコンタクトしていただければと思います。よろしくお願いいたします。



森副事務総長

〔万博・SDGsを通じた関西活性化〕

まず、公益社団法人2025年日本国際博覧会協会というのは、万博特別措置法によって、博覧会の準備、実施主体として指定された団体でございます。

〔大阪・関西万博のテーマ・コンセプト〕

次でございますが、テーマを「いのち輝く未来社会のデザイン」としまして、コンセプトは「未来社会の実験場」でございます。未来社会の実験場という言葉と未来社会のデザインというのが、ほぼ同じ意味だとしますと、未来社会の実験を通じて、いのち輝くとは何かということを訴える、というのが今回の万博ということかと思えます。

そして、会場でございますが、夢洲と申しまして、淀川の河口でございます。

開催期間は、2025年4月から10月でございます。こういった6カ月間のイベントというのは、後になればなるほど混雑していくわけでございますので、4月、5月、6月のまだ熱中症にならない間に、全国から修学旅行や遠足などで小学校、中学校、高校の人々に来てもらいたい。また、アジアからも、



大阪・関西万博のテーマ・コンセプト		OSAKA-KANSAI JAPAN EXPO 2025
テーマ	いのち輝く未来社会のデザイン	
サブテーマ	Saving Lives (いのちを救う) Empowering Lives (いのちに力を与える) Connecting Lives (いのちをつなぐ)	
コンセプト	People's Living Lab (未来社会の実験場)	
会場	夢洲 (大阪市此花区)	
開催期間	2025年4月13日 (日) - 10月13日 (月)	
想定入場者数	約2,800万人	

関西は安い飛行機がたくさんありますので、若い人にどんどん来てもらって、そういう方々がお父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃんなどを連れてきてもらって盛り上がることであればと考えております。

想定入場者数というのは2,800万人でございます、このうち350万人をインバウンドの方と考えておるわけですが、コロナ前の昨年などは、「森君、350万人どころちゃうで」みたいなことを言われておりました。コロナ禍で状況は大きく変わっていますが、ぜひ5年後には350万人が来てくださるようにと考えているわけでございます。

〔万博会場（夢洲）〕

これが夢洲でございます。大阪というのは、水都大阪と言うだけあって、水路がドーンと都心に延びています。これは空飛ぶ車にはすごくよいことで、なぜかという、マンションや建物の上を通るよりも、水の上を通ったほうがはるかに安全でございます。ぜひ2025年には空飛ぶ車を、人が乗るのかアバターが乗るのかは分かりませんが、何らかの形で実現させたいということで、企業さんの何社かが本気で取り組んでくださっています。



〔万博＝「SDGs + beyond」達成への飛躍の機会〕

とくに日本政府館では、SDGs+ beyond館ということを考えております。2025年は、第一部でも話がありました、SDGsの目標年である2030年の5年前でございます、SDGs達成に向けた取組を活性化させる絶好の機会であるだけでなく、それに加えて、2030年の後の+ beyondを考える場であると思っております。

SDGsというのは、2015年に国連で決まりました。2012年のリオ+20という会議のあたりから、サステナビリティという言葉が出てきたのですが、2000年から2015年まではMILLENNIUM DEVELOPMENT GOALSの、Mだったわけです。MがSになったわけですが、果たして2030年の後、Sの後に何になるか、といったことも2025年の万博でどんどん議論していきたい、大阪・関西から議論していきたいと思っております。

万博 = 「SDGs + beyond」 達成への飛躍の機会



- 2025年は、SDGsの目標年である2030年の5年前
- SDGs達成に向けた取組を加速させる絶好の機会
- 2030年のSDGs達成にとどまらず、+ beyond(2030年より先)に向けた目標が示されることが期待される。



1 貧困をなくそう	2 真実をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を實現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任 つかう責任
13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナシップで目標を達成しよう	

3

〔SDGs達成に貢献する「共創」の万博に向けて〕

そして本日視聴していただいている皆様には、TEAM EXPO 2025という言葉ぜひ覚えていただきたい。万博の開催前から社会課題に取り組む大学、自治体、NPO、個人、企業等々で、組織を超え共に創るという「共創」というものを促進させていきたいと思っております。

今やっておりますのは、大阪の小学校、中学校で10時間分の教科書を作りました。今、先生が授業をやってくださっているわけですが、小学校5年生には最後にポスターを作ってもらって、中学校2年生にはYouTubeのような映像でSDGsについて話してもらうことをやっております。今後、この取組をもっと広く進めていきたいと思っております。

〔TEAM EXPO 2025の概要及び進め方〕

ぜひ「参加型万博」を広めていこうということで、今から2～3年の間は関西、大阪を中心に、SDGsや共創の促進を行います。その後、万博が始まるまで、国内にどんどん広げていくのと同時に、グローバル展開も行います。そして、万博開催中は、大阪や関西が「共創の聖地」になるようにしたい

と考えております。

そして、「SDGs+ beyond宣言」のようなものを万博開催期間中の最後に出して、レガシーとして残していきたい、世界に訴えていきたい、と思っております。

SDGs 達成に貢献する「共創」の万博に向けて



人類共通の 課題解決に向けた大きなムーブメントを起こす

SDGs共創プロジェクト **“TEAM EXPO 2025”**を立ち上げ

**2025年
大阪・関西
万博へ**

開催前から、社会課題に取り組む
大学、自治体、NPO、個人、企業等による
組織を越えた「共創」を促進



地域の魅力・取組を
世界へ発信

万博や社会課題解決を学ぶ
小・中学校での
教育プログラムの開発
(大阪府教育庁との連携)

**2020年
取組み
スタート**

2025年には、万博会場を世界中から優れた社会課題
解決事例が集積する**「SDGsの甲子園」**のような場に

4

TEAM EXPO 2025の概要及び進め方



“TEAM EXPO 2025”とは

万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」を実現するため、多様な事業者や個人と連携し、理想としたい未来社会を共に創り上げるムーブメント創出活動のこと。

万博の機運醸成に資する取組み(共創チャレンジ)を会期前より多数推進することで、「参加型万博」を体現するものとする。

2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度以降
		ドバイ博			大阪関西万博	
万博への人々の巻き込み SDGsの取組み、共創の推進		国内の展開強化 グローバル展開推進			大阪・関西万博を未来共創の聖地に	SDGs+ beyondに向けた未来づくり(レガシー)
					会場内外・オンラインで取組みを発信	

5

〔TEAM EXPO 2025における事業者・個人との連携方法〕

そして、先月、プレス発表させていただいたのですが、共創パートナーと共創チャレンジという制度をつくり、募集を開始しました。共創パートナーというのは、万博協会と同じような形で、いろいろな共創チャレンジの取組をご支援いただく組織です。自治体やNGO、またインパクトボンドを実施している企業などが対象です。もうすでにご参加いただいているところもございます。また、財界や商工会議所などにも共創パートナーになっていただいて、その共創パートナーのもとでおのの共創チャレンジを行っていくことも考えられます。また、共創チャレンジは単独でも登録可能です。ぜひ万博協会のウェブページをご覧ください、ご応募いただければと思っております。

TEAM EXPO 2025における事業者・個人との連携方法



1. 共創パートナー（支援をする法人・団体）



未来のために、
色々な人たちと
取組を進めて
いきたいです！

(例) 広く共創チャレンジの未来社会における実装に向けて支援を実施するもの

- ・自治体などによる実証フィールドの提供
- ・ベンチャー支援組織等によるメンターの活用
- ・クラウドファンド等多様な資金調達
- ・メディアによるイベントやフォーラム

2. 共創チャレンジ（1つ1つのアクション）



僕たちも万博に
参加することが
できるんだ！

私たちが考えた未来
社会への取組がチャ
レンジになるのね！



(例) ・SDGs やSociety5.0の実現に向けた活動（ロボットで過疎化を解決する活動など）

- ・文化や芸術に関する創造的な活動（アートを通じ、人間が日常的に幸せを感じられる社会を創造する活動など）
- ・万博のテーマや意義などの情報発信

6

〔大阪・関西万博プロデューサーの決定〕

そして、最近の万博の取組について説明させていただきますが、7月にプロデューサーの方々を決定いたしました。

会場デザインプロデューサーは藤本さんで日本の有名な建築家でいらっしゃいます。また、会場運営プロデューサーの石川さんは、愛知博のほか様々な地方博を経験された方です。

そして、テーマ事業プロデューサーの方々を任命したというのが、今回の2025年万博の特徴でございます。2025年の万博も90から100個程度のパビリオンができると思うのですが、各国の何々館のほか、企業パビリオン、もしくは企業グループのパビリオンもあります。70年万博はそれらがほとんどだったわけですが、我々は、福岡さん、河森さん、河瀬さん、小山さん、石黒さん、中島さん、落合さん、宮田さんの8名の方々にテーマ事業プロデューサーになっていただいて、博覧会協会に加えて、

企業のご協賛もこれからいただきながら、八つのパビリオンをつくっていかうと思っております。

イベントプロデューサーというか、行催事のプロデューサーはまだ任命しておらず、これからでございます。

加えて、後程また議論になるかもしれませんが、リアル会場とは別に、バーチャル万博のようなものにもトライしたいと思っております。バーチャル万博をどのような検討体制でやるかについては、今後の課題となっております。したがって、まだすべての役割を担う方々を決定したわけではございません。

大阪・関西万博プロデューサーの決定



会場デザインプロデューサー

藤本 壮介 (建築家)



会場運営プロデューサー ※敬称略

石川 勝 (プランナー、プロデューサー)



テーマ事業プロデューサー

福岡 伸一
(生物学者、青山学院大学教授)



「いのちを知る」

河瀬 直美
(映画監督)



© LESLIE KEE
「いのちを守る」

河森 正治
(アニメーション監督、メカニックデザイナー)



「いのちを育む」

小山 薫堂
(放送作家)



「いのちをつむぐ」

石黒 浩
(大阪大学名誉教授、ATR石黒浩特別研究所客員所長)



「いのちを広げる」

中島 さち子
(音楽家、数学研究者、STEAM教育家)



「いのちを高める」

落合 陽一
(メディアアーティスト)



© 堀川実花
「いのちを磨く」

宮田 裕章
(慶応義塾大学教授)



「いのちを響き合わせる」 7

[ロゴマークの決定]

今年の8月にロゴマークを決定いたしました。このロゴマークで、我々は「デザインの力」というものを思い知ったわけです。関西だけではなく、東京や全国放送などでも、気持ち悪いとか、やっぱりかわいいんじゃないかとか取り上げていただき、クイズ番組にも結構出していただきました。まだまだ万博の認知度は足りないと思いますが、北海道から沖縄まで、2025年に関西で万博があるらしいということは分かっていたかと思えます。まさに「デザインの力」なのですけれども、今後、このデザイン、このロゴマークをいろいろ使っていただきたいと思っています。加えて、先ほどのTEAM EXPO 2025やそれ以外にも様々な機運醸成のイベントを実施し、まずこの関西・大阪、次に日本全体、そして世界に向けて万博を売り出していきたいと思っております。

[今後の主なスケジュール]

今後のスケジュールですけれども、今年、2020年は万博の土台を決める年ということでございまして、

7月に主要なプロデューサーの選定をいたしました。そして8月にロゴマークを決定いたしました。

そして、12月にBIEと呼ばれる博覧会国際事務局の総会で登録申請書の承認をしてもらいます。これが承認されてから各国への参加招請が可能となりますので、今後各国に対し、夢洲でパビリオンをつくりませんか、ということをお願いしたいと思っております。

ロゴマークの決定



最優秀作品



OSAKA, KANSAI, JAPAN
EXPO
2025

グループ名：TEAM INARI(チーム イナリ)
作者(代表者)：シマダ タモツ
(アートディレクター/グラフィックデザイナー)

コンセプト

踊っている。跳ねている。弾んでいる。だから生きている。大阪・関西万博。1970年のデザインエレメントをDNAとして宿したCELLたちが、2025年の夢洲でこれからの未来を共創する。

関西とも、大阪府ともとれるフォルムを囲んだメインシンボルだけでなく、CELLたちは、文字や数字を描きだし、キャラクターとしてコミュニケーションする。自由に。有機的に。発展的に。いのちの輝きを表現していく。

70年大阪万博
ロゴマーク



EXPO 70

8

今後の主なスケジュール



2018年

11/23
開催国決定

2019年

1月末
一般社団法人
2025年日本国際博覧会協会設立

10月
公益社団法人移行

12月
登録申請書BIEへ提出
※各国へ示す実行計画

2020年

7月
プロデューサーの選定

8月
ロゴマークの決定

12月
BIE総会（登録申請書の承認）

2025年

10月-3月末
ドバイ博（登録博）

EXPO 2020 إكسبو 2020
دبي، الإمارات العربية المتحدة
DUBAI, UNITED ARAB EMIRATES

4月-10月
大阪・関西万博開催

基本計画策定・公表

※万博開催に必要な事業の方針や考え方をまとめた協会のマスタープラン

各国への参加招請活動

9

また、今、プロデューサーの方々からの様々なご意見を踏まえて基本計画を作っております。BIEの条約で、大きな万博と大きな万博の間は5年間空けるという規定があります。これは頻繁にやると、各国の財政負担が大きいからです。ただ、2020年のドバイ万博はコロナ禍で1年遅れ、来年の10月から開催します。通常は春から開催するのですが、ドバイは暑いため、10月から開催します。したがって、ドバイ万博が終われば、2022年の3月となり、そこから大阪・関西万博の開催まで3年しかないわけです。しかしながら、BIEという国際機関や日本政府からは、大阪・関西万博は延期せずによりしっかりやって成功しようと言われております。2025年の開催に向け、これからどんどん準備を進めていかなければなりません。

〔2025年日本国際博覧会がめざす姿〕

この万博でございますが、「いのちを考え、社会を検証し、提案する機会に」し、かつ、「観る」万博から「参画し、共に創る」万博にしたいと考えております。万博協会だけで何でもやるのではなく、様々な皆様にいろいろやっていただけるようにしたいと思っております。本日お聞きの皆様、ぜひ万博に何らかの形で参画していただければありがたいと思っております。

2025年日本国際博覧会がめざす姿



◆「モノを見せる場」から「コトを感じる場」に、
「観る」万博から「参画し、共に創る」万博に

◆コロナウイルス感染症の地球規模の拡大という
未曾有の局面を経験、世界の国々と
「いのち」を考え、「社会」を検証し、提案する機会に

「いのち輝く未来社会」の実現に向け、
世の中を変える動きを
創り出すような新しい万博に！



出典：経済産業省

10

〔2025年大阪・関西万博の成功を！〕

「2025年万博の成功を！」ということで話をさせていただきました。貴重な時間をいただきまして、ありがとうございました。

2025年大阪・関西万博の成功を！



(石川) ありがとうございます。現在の取組の全体像が分かって、私自身、大変勉強になりました。あと、協会さんの問題意識も分かりましたので、これを聞いておられる方もかなり理解が深まったのではないかと思います。ありがとうございます。

では、次は千葉様、よろしくお願いいたします。

(千葉) 本日は、このような機会をいただき、ありがとうございます。国連プロジェクトサービス機関、千葉と申します。

〔SDGsとイノベーション〕

本日は、「SDGsとイノベーション」と題し、手代木社長がおっしゃられたような課題先進地域である関西からのイノベーションの輸出産業化や、森副事務総長のおっしゃられたような組織を超えた共創、こういったものを通じ、国連という視点からどのように推進していきたいのか、お話ししていきたいと思います。



千葉駐日事務所代表

〔SDGs〕

まず、SDGs、2030年を目標年次とした全世界共通の持続可能な開発目標となっております。ともすれば、開発途上国の社会問題のためと取られがちですが、SDGsが今までと大きく違う点が、まず民間企業も主体となっているということ、また、先進国を含む全世界の成長戦略でもあるという点です。



SDGs

持続的な成長のための 世界共通の成長戦略

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

1 貧困の撲滅	2 飢餓の撲滅	3 健康的な生活	4 質の高い教育	5 ジェンダー平等	6 清潔な水と衛生
7 再生可能エネルギー	8 働きがいと経済成長	9 産業、イノベーション、インフラ	10 人や国ごとの公平な富の分配	11 持続可能な都市とコミュニティ	12 持続可能な消費と生産
13 気候変動への対応	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさを守ろう	16 公正な裁判と法の支配	17 パートナーシップによる開発	SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

UNOPS

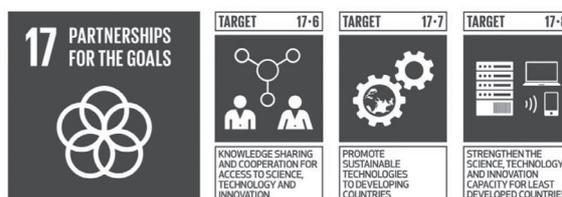
2

[SDGsゴール17]

官民連携の重要性、こちらはSDGsゴール17にもあります。とくに知識の共有、科学、技術、イノベーションのための協力、こちらはSDGsゴール17にも明記されている通りです。

SDGsゴール17

- 民間連携の重要性
- 知識の共有、科学、技術、イノベーションのための協力



〔SDGsが提供する巨大な市場機会〕

SDGsは巨大な市場機会としても捉えられております。2030年までにSDGsが提供する市場機会は、年間で12兆ドルとも言われています。主に食料と農業、都市、エネルギー、そして健康と福祉の四つの経済分野では、60のホットスポット、つまり、成長産業が存在すると言われております。

SDGsが提供する巨大な市場機会

“2030年までにSDGsが提供する市場機会は
年間12兆ドル”

